

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	加賀森林計画区（かが） （石川県）		事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署																
事業の概要・目的	<p>加賀森林計画区は石川県の南部に位置し、国有林野33,901haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林15,031ha(44%)、森林と人との共生林18,847ha(56%)、資源の循環利用林23ha(0%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に奇与するため、間伐等の保育作業を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">526</td> <td style="text-align: right;">(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p style="text-align: right;">159,351 (千円)</p>				森林整備	更新面積		(ha)		保育面積	526	(ha)	路網整備	開設延長		(km)		改良延長		(km)
森林整備	更新面積		(ha)																	
	保育面積	526	(ha)																	
路網整備	開設延長		(km)																	
	改良延長		(km)																	
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益 (B)</td> <td style="width: 70%; text-align: right;">627,852 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td style="text-align: right;">141,880 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">4.43</td> </tr> </table>				総便益 (B)	627,852 (千円)	総費用 (C)	141,880 (千円)	分析結果 (B/C)	4.43										
総便益 (B)	627,852 (千円)																			
総費用 (C)	141,880 (千円)																			
分析結果 (B/C)	4.43																			
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																			

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成24年度～平成28年度
事業実施地区名 （都道府県名）	伊賀森林計画区（いが） （三重県）		事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>伊賀森林計画区は三重県の北西部に位置し、国有林野1,298haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林1,271ha(98%)、森林と人との共生林19ha(1%)、資源の循環利用林8ha(1%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>			
	・ 主な事業内容	森林整備	更新面積 保育面積	(ha) 35 (ha)
		路網整備	開設延長 改良延長	(km) 0.3 (km)
	・ 総事業費			15,381 (千円)
費用対効果分析	総便益 (B)			74,338 (千円)
	総費用 (C)			14,522 (千円)
	分析結果 (B/C)			5.12
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>			

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	加古川森林計画区（かがわ） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署																
事業の概要・目的	<p>加古川森林計画区は兵庫県の東南部に位置し、国有林野5,155haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林3,381ha(65%)、森林と人との共生林1,581ha(31%)、資源の循環利用林193ha(4%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">・ 主な事業内容</td> <td style="vertical-align: top;">森林整備</td> <td style="vertical-align: top;">更新面積</td> <td style="vertical-align: top;">31 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">保育面積</td> <td style="vertical-align: top;">377 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;">路網整備</td> <td style="vertical-align: top;">開設延長</td> <td style="vertical-align: top;">2.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">改良延長</td> <td style="vertical-align: top;">(km)</td> </tr> </table> <p>・ 総事業費</p> <p style="text-align: right;">248,825 (千円)</p>			・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	31 (ha)			保育面積	377 (ha)		路網整備	開設延長	2.3 (km)			改良延長	(km)
・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	31 (ha)																
		保育面積	377 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.3 (km)																
		改良延長	(km)																
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B)</p> <p style="text-align: right;">954,149 (千円)</p> <p>総 費 用 (C)</p> <p style="text-align: right;">304,099 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C)</p> <p style="text-align: right;">3.14</p>																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	紀北森林計画区(まほく) （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署																
事業の概要・目的	<p>紀北森林計画区は和歌山県の北部に位置し、国有林野2,872haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林1,493ha(52%)、森林と人との共生林634ha(22%)、資源の循環利用林745ha(26%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">・主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">73 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">706 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">0.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p style="text-align: right;">386,941 (千円)</p>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	73 (ha)			保育面積	706 (ha)		路網整備	開設延長	0.4 (km)			改良延長	(km)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	73 (ha)																
		保育面積	706 (ha)																
	路網整備	開設延長	0.4 (km)																
		改良延長	(km)																
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">総便益 (B)</td> <td style="text-align: right;">2,308,280 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td style="text-align: right;">547,626 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">4.22</td> </tr> </table>			総便益 (B)	2,308,280 (千円)	総費用 (C)	547,626 (千円)	分析結果 (B/C)	4.22										
総便益 (B)	2,308,280 (千円)																		
総費用 (C)	547,626 (千円)																		
分析結果 (B/C)	4.22																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	千代川森林計画区（せんだいがわ） （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署												
事業の概要・目的	<p>千代川森林計画区は鳥取県の東部に位置し、国有林野15,324haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林12,229ha(80%)、森林と人との共生林2,946ha(19%)、資源の循環利用林149ha(1%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>22 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,909 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>794,979 (千円)</p>			森林整備	更新面積	22 (ha)		保育面積	1,909 (ha)	路網整備	開設延長	11.0 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	22 (ha)													
	保育面積	1,909 (ha)													
路網整備	開設延長	11.0 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	<p>総便益 (B) 3,452,860 (千円)</p> <p>総費用 (C) 825,665 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 4.18</p>														
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	岩徳森林計画区（がんとく） （山口県）		事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所																
事業の概要・目的	<p>岩徳森林計画区は山口県の東部に位置し、国有林野2,476haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林870ha(35%)、森林と人との共生林1,518ha(61%)、資源の循環利用林88ha(4%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、間伐等の保育作業を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: center;">411</td> <td style="text-align: right;">(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p style="text-align: right;">107,260(千円)</p>				森林整備	更新面積		(ha)		保育面積	411	(ha)	路網整備	開設延長		(km)		改良延長		(km)
森林整備	更新面積		(ha)																	
	保育面積	411	(ha)																	
路網整備	開設延長		(km)																	
	改良延長		(km)																	
費用対効果分析	<p>総便益(B)</p> <p style="text-align: right;">469,213(千円)</p> <p>総費用(C)</p> <p style="text-align: right;">102,725(千円)</p> <p>分析結果(B/C)</p> <p style="text-align: right;">4.57</p>																			
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																			